



第3回まつもと子ども未来委員会の報告

平成 28 年 5 月 25 日

第2期の第3回目まつもと子ども未来委員会は、平成28年5月22日（日）あがたの森文化会館で行いました。この日は、35人の委員のうち、小学校5年生から高校3年生までの23人の委員が出席しました。

1 正副委員長の選出

最初に、前回決められなかった委員長と副委員長を決めました。候補者6人のなかで話し合っ、委員長1人と副委員長5人が決まりました。

次回の委員会からは、委員長、副委員長が進行をします。



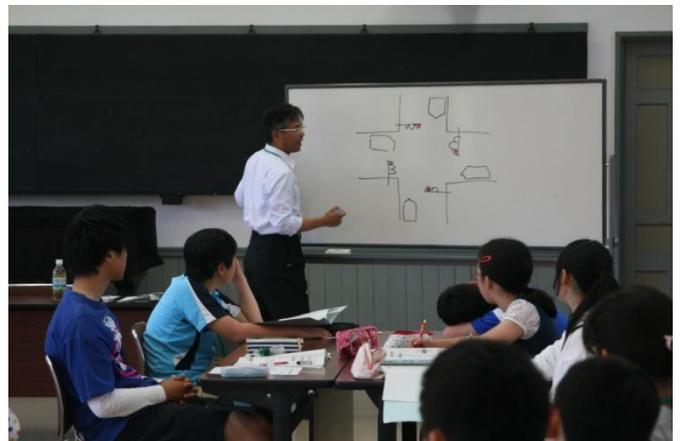
2 「まちのくらしや安全について」学習・意見交換

松本市の交通安全・都市交通課の方に話をしてもらって、「まちのくらしや安全について」の学習をしました。

まず、松本市で発生している交通事故は多くて、県内の事故の6分の1は市内で発生していること、市内では1日（24時間）に約24件発生していて、1時間に1件は交通事故が発生していることを教えてもらいました。

また、自転車の事故が県内の他の地域に比べて多いことを教わり、自転車も車の仲間なので、左側通行や道路標識など、車のルールを守らなければいけないこと、歩道を自転車で走れるのは12才までだということなどを知りました。自転車の事故を減らすために、市では、呼びかけをおこなったり、市内の学校で交通安全教室を行ったり、小学4年生の子どもたちに自転車の免許証を配布しているそうです。

それから、「松本走り」という、松本の危険な車の運転方法があることも知りました。今回学習したことをもとに、どんなことが問題か、どうしたら解決できるか、みんなで意見交換をしました。



□■□ みんなからの主な意見 □■□

問題点	どうしたら解決できるか
事故が多いこと	<p>◆ 公民館^{こうぎ}で講義^{こうぎ}をする。</p> <p>◆ ラジオで朝と夕方に呼びかける（帰る時とかに車で聞く） 【交通安全・都市交通課の方のコメント】 公民館では、今は、高齢者^{こうれいしゃ}の交通安全教室をおこなっています。 メディアをとおしての呼びかけは活用してみたいです。</p>
まつもとほし 松本走り・危険運転 ^{きげんうんてん}	<p>◆ 交差点^{こうさてん}や信号機^{しんごうき}のところにポスターを貼る。</p> <p>◆ 右折車専用信号^{うせつしゃせんようしんごう}の増加に力を入れる。</p> <p>◆ 駅^{えき}や公共施設^{こうきょうしせつ}にポスターを貼る。</p> <p>◆ 信号の所にカメラを取り付けて、取締り^{とりしま}を強化する。 【交通安全・都市交通課の方のコメント】 防犯ポスターのコンクールはあるけど、交通安全についてのコンクールはないので、今後考えてみたいです。 信号は警察^{せいち}が設置していますが、右折専用の信号をつくるには、まず右折専用の道を作らなければいけません。道路は市がつくるので、まずは道路作りを進めたいです。カメラも、事故が多い交差点には設置をしているので、今後も取り組んでいきたいです。</p>
事故は人ごとだと思っていること	<p>◆ 実際に事故^{じこ}にあった人の体験談^{たいけんたん}を聞く時間を作って市民の意識^{いしき}を高めたい。 【交通安全・都市交通課の方のコメント】 事故にあった人の気持ちも考えなくてはいけないので、体験談を聞くのはむずかしいところもあるけれど、実際に話を聞くのは大事なことだと思います。実際の体験談ではないけれど、今は、交通事故^{さうじく}を再現した安全教室をやっています。</p>

みんなの意見を聞いて、交通安全・都市交通課の方が、「交通安全の3つの柱」というものを教えてくださいました。交通安全は、①交通取締り^{こうつうとりしま}（警察による取締り）、②交通安全教育^{こうつうあんぜんきょういく}（呼びかけや交通安全教室）、③交通工学^{こうつうこうがく}（信号機のことなど）の3つから成り立つそうです。みんなの意見は、この3つに当てはまるので、すごいことだと言ってくれました。

次回の委員会は、6月12日（日）午後2時から4時に松本市大手公民館で行います。今回は、「まちをきれいにすることについて」の学習や意見交換をします。